

電動自転車

充電に廃アルミ活用

北陸の産官学などで
東京都内で実験

北陸の産官学などでつくる北陸グリーンエネルギーギョー研究会(炭谷茂会長)は、一般ゴミから回収したアルミニウムを使って発電する技術を用い、レンタル用電動自転車のバ

ッテリーに充電する取り組みを東京都文京区で始めた。電動自転車の充電を通じ、技術の知名度を高める狙いがある。アルミコーティングした紙パックなどの一般ゴ

ミや産業廃棄物に含まれるアルミ系廃棄物を分離して高純度のアルミを回収する。アルミを水酸化ナトリウム液と反応させて水素を発生させ、燃料電池で発電する。

廃棄物のなかには資源として再利用できるアルミが多く含まれるが、分離が難しく、焼却処分されているという。

文京区の自転車駐車場にある電動アシスト自転車80台を31日まで充電する。時間は午前10時～12時と午後1時半～3時半。4時間でアルミ約240gを使う。